

# 日本語・日本文化学習プログラム

Intensive Japanese Language and Culture Study Program

プログラムコーディネーター  
浅津 嘉之

## 1. 科目情報

科目名 日本語学習科目（日本語・日本文化（サマー／ウィンター**3週間**））  
初級／初中級／中級

履修期 春学期集中／秋学期集中 **=7-8月／2月**  
単位数 2単位

目的 **日本語の力**を伸ばすとともに、日本の**社会・文化への理解**を深める。

到達目標（一部）

- 初 級 お互いの日常生活について、伝えたり、質問したりできる。
- 初中級 身の回りのことについて、事実や感想をまとまった長さで表現できる。
- 中 級 抽象的なテーマについて話し合い、関連する内容について発表したり意見を述べたりできる。

設計土台 「日本語教育センターの目指す学生像」（主体性、自律性、多様性）

- 特色
- ・ **本学正規学生が日本語パートナー**として参加（正課外活動）する。
  - ・ 留学生とパートナーが**協働でプロジェクト**に取り組む。（探究・創造型シラバス）  
（参加者数 1クラス 留学生10名程度 + パートナー10名程度）

## 2. 授業の構成；1日2コマ

### 【1コマ目】 クラス全体で前日作業のふりかえり

内 容 プロジェクト作業での気づきや発見，問題を共有する。

- ・日本語 … 解説，用法の確認や練習
- ・プロジェクト … 対応や工夫の検討

やり方 学生＝**個人**のシートに毎回記録 → 教師＝いくつかを**クラス**に提示

- ねらい
- ・自分の日本語の運用・使用を見つめ直すことで，自分の**ことば**とする。
  - ・**チーム作業**が効率的で協力的に進められる方法を考える。

### 【2コマ目】 チームでのプロジェクト

内 容 **多文化共生をテーマ**に，社会へのメッセージを込めた**作品をつくる**。

(願い 様々なバックグラウンドを持つ人々が共に笑顔で暮らせる社会にしたい)

やり方 留学生とパートナーの**混成チーム**

- ねらい
- 協働で探究することで，参加者全員が一体となって**学び合う**。
  - 実用的**な日本語能力を身につける。

### 3-1. 実践の様子；プロジェクト【2コマ目】

2021冬季（中級クラス・オンライン）の様子を  
ビデオで



(<https://www.youtube.com/watch?v=t2IH4IX-K-c>)

### 3-2. 実践の様子；ふりかえり【1コマ目】

#### ◆日本語

I don't know how to change the verb masu-form.

I wonder how to politely refuse someone in Japanese.

How to speak number “1/2/3/4...10” in Japanese?

#### ◆プロジェクト

今日、2人のパネリストが授業に出席しなかったことは非常に残念です。

はなこ can draw so well!!! I feel so lucky to be in the same group with her.

Can we make a new PPT by ourselves, because shared ppt is a bit inconvenient.

リフレクションシートより…

Comments from Reflection sheets

↓ Ideas from classmates in class 0801

1. How to politely refuse someone in Japanese??

1) "sumimaseN..." + your reason.

2) "TabuN muzukashii desu...."

3) "keNtoo shimasu" = will discuss

4) "dekimaseN arigatoo/gomeNnasai"

5) ▲ "okotowari sezaruo oemaseN"

6) "mooshiwakearimaseN"

7) "aa iidesu ne"

## 4-1. 成果と課題；授業

(1) 学生に権限を与えることで学びの可能性の広がり  
ゴールとツールを明確に提示すれば、「日本語初級・  
留学生に慣れないパートナーのチーム・短期間」でも  
目標達成は可能

(2) テーマ設定のメリットとデメリット  
日本語レベルに対して「多文化共生」が抽象的  
→ ・ 留学生が自国のことを話題にでき語れる  
・ パートナーにとっての学び

(3) チームでの学びを個人の語りのことばへ  
「クラス⇔チーム⇔個人」の活動を組み合わせ、メッ  
セージを最後は個人に落とし込んで言語化できた。

在日コリアンが受ける  
差別や現状の例

・日本人が在日コリアンの文化を理解していないので、在日コリアンに対して偏見を持っている。在日コリアンの異なる文化や習慣を理由に日本人と一緒に住むのが難しい。  
→「仕事、住むところを見つけるのが難しい。」

・国籍は韓国・朝鮮だが、ずっと日本に住んでいるので、日本のことしか知らない。  
→韓国・朝鮮人としてのアイデンティティの継承ができていない。自分のルーツのことを知らない。

～なぜ、このイベントを開催するの？～

日本で生活する在日コリアンは、差別を受けている。  
在日コリアンの人たちは困っている！  
日本人たちは、在日コリアンのことを知るべき！

このイベントを通して、日本人たちに韓国のことや  
在日コリアンのことを知ってもらおう。  
そして、差別や偏見をなくす！

みんなが笑顔で  
生活できる社会をつくりましょう！



【現状と課題】：シンガポール人は異なる民族や宗教に対して偏見を持つ

・多くの民族が同じアパートに住んでいます。一緒に生活する時、民族間の問題がたくさんあります。例えば、隣人が料理する時、異なるのにおいがあります。


【解決方法の提案】：隣人のグループチャットを作りたいです。

・料理する時、チャットでメッセージを送ります。例えば、「カレーを料理するので、窓を開けてください」というメッセージ

【根拠】：  
・異文化を尊重するべきだと思います。お互いに理解するためにコミュニケーションのところは大切です。だから、グループチャットは良い方法です。

【改善・発展ポイント】：  
理解することが問題の最初のステップだけです。他の解決方法が必要で

いろいろなカレー  
(アンジー)



Source : The New Paper, SPH  
シンガポールのカレー紛争

## 4-2. 意義と課題；プログラム

### 課題と意義が表裏一体

#### ◆問題や課題への気づきで終わる（教育的）

言語能力の限界，人間関係のギクシャク，政治的要素

↓↓

学びへのスタートラインがひける

#### ◆授業担当期間の長期化（業務的）

通常学期終了≡本プログラム開始

↓↓

学生の将来へのきっかけや支え＝本学学生への直接的サポート

交換バランスへの貢献＝本学学生への間接的サポート

## 参考情報 資料

2021冬季のビデオ（正規学生向け）

<https://www.youtube.com/watch?v=t2IH4IX-K-c>

## 主な文献

鈴木敏恵（2012）『課題解決力と論理的思考力が身につく プロジェクト学習の基本と手法』教育出版

松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター（編著）（2015）『ディープ・アクティブラーニング 大学授業を深化させるために』勁草書房

美馬のゆり（編著）（2018）『未来を創る「プロジェクト学習」のデザイン』公立はこだて未来大学出版会

ご清聴ありがとうございました。

意見，アイデア，質問など，ぜひお聞かせください。

浅津嘉之（y.asazu@kwansei.ac.jp）